

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ユーズキャリア

②事業者情報

名称：	ゆうゆうくじら保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	本田直子	定員(利用人数)：	120 名
所在地：	〒362-0021 上尾市原市3870-1	TEL	048-721-3781

③評価実施期間

令和7年 5月 27日（契約日）～令和 7年 10月 14日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

【のびのびした環境の中で主体性を育てる保育】

・理念である「ゆっくりと うけいれて ゆっくりと うなずいて くまなく じっくり らしさをはぐくみます」に基づき、知育・徳育・体育・食育それぞれを大切に取り組んでいます。今年度より、以上児には英語遊びや音楽遊びを取り入れ、さらに茶道や体操教室など充実したプログラムを実施しており、保護者からも評判が良く期待を寄せられています。

・1歳児クラスは月齢の前期・後期に分け、自我の育ちに配慮した保育を展開しています。園内には広々としたホールが各所に設けられ、子どもたちがのびのびと遊べる環境が整っています。その環境設定の中で、職員は主体性を重んじた保育を心がけ、毎月園内研修を実施し、質の高い保育を提供できるよう努めています。子どもたちは、さまざまな体験や経験を通して、自分の好きなことや友達との関わりを感じ取っています。異年齢児交流の時間も多く、大きい子が小さい子の面倒を見るなど、良い関わりが生まれています。

・一人ひとりに寄り添った保育が行えるよう、義務付けのない3歳以上児についても個別支援計画を作成しています。

・職員は合同保育や行事を通じて120名の子どもの様子や名前を共有しており、このことが保護者への信頼と安心感にもつながっています。

【食育の取り組み】

近くには広いくじらファームがあり、自然に触れる機会が多くあります。園児は野菜を育て、自ら収穫した野菜を食べるなど、食育への取り組みが評価に値します。さらに、4・5歳児はクッキング体験を行う機会もあり、食への関心を深めています。

【生命の安全教育の取り組み】

「和みの会」は、①子どもへの学習指導、②職員の研修、③保護者への提供、④地域との連携を4つの柱とし、園の「徳育」と人権保育として生命の安全教育に取り組んでいます。絵本を用いた学びや子ども同士のグループワークなどを通して、子どもたちが自ら気づく実践を行っています。「プライベートパーツ」「自分のことは自分で守る」「自分も人も大切にすること」を継続的に伝えています。また、保護者には懇談会でのDVD視聴や取り組みの様子を共有するなど、情報発信にも努めています。

【職場環境の取り組み】

職員の働きやすい環境づくりが定着につながっており、全職員の平均勤続年数は7年、常勤職員は11年となっています。時間外勤務はほとんどなく、産休時には派遣社員を補充するなど、職員の定着に努めています。今年度は休憩時間の一覧表を作成し「見える化」したことで、他職員と対話しながら、就業規定に定められた休憩を確実に取れるようになっています。

【業務分担の見える化】

毎月の会議で各業務分担の進捗状況を報告し、意見を求めながら情報を共有しています。園全体の業務が「見える化」され、効率的に進められるようになっています。

【事業計画の充実】

事業計画は策定されていますが、単年度における具体的な事業内容をより明確に記載することで、さらなる質の高い保育の実現が期待されます。

【行事及び子どもの写真提供】

アンケート結果からは、保護者の勤務実態が様々である一方、土日が休みの保護者からは行事の土日開催を希望する声も聞かれています。利用者満足の観点から、今後の検討が望まれます。また、日頃の園での様子を伝えるお便りを楽しみにしている保護者も多く、写真をより多く提供してほしいという要望も寄せられています。可能な範囲での対応について検討されることが期待されます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回のアンケートについて、保護者の回答率が47%職員が53.4%とかなり低いことが挙げられます。総合的な評価についてあげられていることを鑑みながら保護者対応の仕方、説明の仕方として、伝え方の工夫を再検討したいと考えています。

伝えていても聞く側の思いに寄り添い丁寧に確認しながら実施する必要があることを実感いたしました。数年前から行事の在り方・防犯体制については検討をしているところです。写真提供については、これまでのやり方を見直したところでしたが、職員間で子ども達に対する安全面や保育の在り方についてもより良い情報提供の仕方を模索していきたいと思います。

職員の要望については、個人的にヒヤリングを通して対応しているが、交通費支給は就業規則の見直しを社労士と協議しながら進めていきたいと思っています。

物品購入の仕方明確化については、労務リーダーからわかりやすく伝えてもらうなど、対応いたします。

園児数の増加について、120人定員は、平成27年度から変化していません。

人員配置の在り方も今後さらに手厚くできるよう考慮したいと思います。配慮の必要な園児が増加していることについての不安感からだと思いますので、現在加配している職員のレベルアップと研修をしながら、子どもにとって、職員にとって、安心安全な保育環境を目指したいと考えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり